

対談者

- 鳥海山にブナを植える会 須田和夫氏 (以下「B」)
- エヌポック 佐々木久弥氏 (以下「N」)

- モミガラパワー 齋藤修一氏 (以下「M」)
- 進行 企画情報課広報聴班 村上、渡部、須田 (以下「広」)

鳥海山にブナを植える会

**MN** 私たちもブナの会員です。**B** ご賛同いただきありがとうございます。私たちが、ブナの原生林に覆われていた昔の鳥海山を知る人たち、白神山地に匹敵する情

況を伝え聞いた人たちが、100年、200年かけても再生したい、という思いから、出発しています。各方面からの協力をいただき、現在に至っています。組織を大きくしない。派手なイベントをやらない。長く続けることが一番大事と考え、行政に頼らず、コツコツと続けていく。これらが続けて来られた要因でしょうか。

モミガラパワー (MP)

**M** 3年前、市の工業振興会が農家と異業種交流をしました。その時に課題として出されたのが「粕殻の処理」。腐りにくいことから、暗きよなどには利用されているが、安定的に需要がある訳でない。最初は、細かく砕くことで肥料などに利用しやすくなると、粉碎機の開発を振興会のプロジェクトとして活動を開始した。既に粕殻の利用方法は色々と研究されていて、関連企業もあった。その年に開催された、にかほ市種苗交換会に粉碎試作機を展示し、関連企業とも

交流。その交流から粕殻を固めて燃料にする機械メーカーと出会った。検討の結果、「粕殻の有効活用」はこの固形燃料化からということになって、この段階で振興会のプロジェクトから独立して活動すべきと、NPOを設立しました。安定的な需要をつくるには、事業として成り立つようにさせることであり、用途、市場の開拓と皆さんに使用してもらえる環境づくりが最大の課題です。現在、午ノ浜温泉(三森)で固形燃料「モミガラライト」のストーブを使用しています。薪ストーブとほぼ同じ使用感、体感してください。これはバイオ燃料です。石油燃料と違い、燃やしても二酸化炭素は増えずに循環する。身近にある粕殻でカーボンニュートラル(※)な社会を目指す一助になれば、という実験、そういうことを言う連中がいてもいいんじゃないかと…

※バイオ燃料を燃やして排出されるCO2量は、植物が生育する過程で取り込まれたCO2量と同量で、大気中のCO2量に影響を与えない。このように、CO2の排出と吸収が±0なことをいう。

**N** もう、製品化しているの？  
**M** できています。既に40トンくらい処理している。ストックがあるが、焦らず、来年以降の販路拡大を目指している。  
**B** 40トンでどれくらいできる？  
**M** 粕殻をそのまま固めるだけなので、水分が飛ばされて、重さで



■ NPO法人  
モミガラパワー(MP)  
平成22年設立

市工業振興会が農家と情報交換した中で、粕殻のリサイクルに着目。同会の会員などが法人を設立し、現在、固形燃料として市場開拓を模索している。新分野の起業を促し、環境に配慮した地産地消の循環型社会を目指している。  
会員数：19名  
事務所：にかほ市三森

■ 鳥海山に  
ブナを植える会  
平成6年設立

戦後にその7割が伐採されたという鳥海山のブナ原生林。かつての鳥海山の姿をよみがえらせようと、ブナを植栽・保護・育成している。当地域の市民活動の先駆けとして知られ、会員数は増加を続けている。  
会員数：700名  
事務局：にかほ市象潟町関

■ NPO法人  
エヌポック(NPOC)  
平成19年設立

地域に新たな文化を創造しようと、さまざまな分野で幅広く活動中。コンサートや講演、シンポジウム、寄席、白瀬南極探検隊長に関する事業などを行っている。進取の精神で、新たな価値観を提案する。  
会員数：70名  
事務所：にかほ市金浦

「広報にかほ」  
新春特集にあたって

「広報にかほ」では、平成23年の新春特集として、市内のNPOとボランティア団体の代表3氏による対談を企画しました。NPO(特定非営利活動法人)とボランティアは区別されるべきなのかもしれません。彼らの活動と心には、広い意味で通じるものがあると考えます。

彼らはタダで活動する。自らへの見返りを求めず、無償無給で。時に我々、行政が担うべき役割を負う。その仕事・労力に対する対価は、プライスレスな(Prices・金額に表せない価値がある)尊いもの。

郷土が生んだ齋藤憲三、白瀬轟の二人は、財を成したとは言えないかもしれない。それでも、後世に生きる我々は、憲三が故郷に残した豊かさを享受し、白瀬が成した偉業に勇気づけられる。

対談が進むにつれて盛り上がり、3氏が長年の同志でもあるかのように感じられました。広報担当一同、感銘を受け圧倒されました。

それでは7ページまで、対談をお楽しみください。

2割減るくらい。「モミガラライト」1本が900gです。薪みたいな形で中に穴が空いている。添加物は何もなし。モミ自身が持っている樹脂成分で固める。加熱はしませんが、

**N** 捨てていた粕殻、市内の全量を吸収できる見込みですか？  
**M** 市場次第。やればできる。  
**B** コストは？

**M** そう、これから考えなくてはいいけない。採算性。市場の構築。そのためにはどういう使い道があるって、具体的にどういう製品が適しているか。そういうところを我々が考えてやっていたいかなければいけない。儲かるとなれば、どこか企業がつくるだろうから。

**広** 薪ストーブを使っている家庭では、受け入れやすいでしょうね。  
**M** 炭のように火持ちがいい。煙もあまり出ない。パーベキューにもいいですよ。うちの宣伝が多くてすみませんね。  
**B** カロリーは？

**M** 最終的には、新と比べてどうかということなのでしょうが、1kg3、900キロカロリーのくらい燃えた後の灰からもシリコンが抽出されるそうです。まあ、どれだけ回収できるか。粕殻はたくさんある。しかし具体的にどこにあるのか。どうやって集めるのか。どこで加工すればいいのか。現在は、各集落のライスセンターに機械を運んで、処理している。